

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年 1月 22日

事業所名:どんぐりの里(児童発達支援)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指定基準以上の指導訓練室を確保 ・指導訓練室以外に食堂、相談室、屋外遊戯場、静養室を設ける	はい100% ・おもちゃの数もスペースもとても充実している	継続
	2 職員の適切な配置	・基準配置職員に加え、加配職員を配置	はい100%	必要に応じて人員確保に努める
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・施設内バリアフリー ・館内にエレベーターの設置	はい100%	子どもに応じて適宜環境を整える
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃の実施 ・空気清浄器の活用	はい100% ・たまに寒いと思う時がある(室内温度)	適正室温の設定と管理を行う
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・人事評価制度の活用 ・毎月2回の会議において、指導法等の意見交換を実施	/	人事評価について内部研修を行い、意識して働けるようにする
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者評価の受診(3回)	/	4回目の受信を検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部講師による研修(法人全体で年3回) ・外部研修への参加の促進 ・内部研修会の実施(事業所で年1回) ・研修報告書の作成	/	研修計画の作成
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用者のサービス等利用計画を基に、個別支援計画を作成 ・計画期間内にモニタリングの実施や相談支援事業所から情報を得るようにしている ・アセスメント表の活用	/	相談支援事業所との連携を密にして情報の提供を受ける
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別支援計画において、個別支援の部分と集団の中での支援と目標設定をしている ・状況に応じて、家族支援や地域支援の視点も取り入れている	/	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・個別支援計画作成後、保護者への説明	/	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施	はい73%どちらともいえない6%わからない15%無回答6% ・病気についても理解があり、支援計画もすばらしい	継続
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施	・創作もいろんなものを作って楽しそう ・細かい言葉かけなど丁寧にかかわっている	アンケートの実施
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・お泊り保育を実施 ・公共施設を使い社会性の習得 ・放課後デイの保護者との交流プログラムの実施		継続
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・曜日ごとにプログラムに変えている ・季節行事を取り入れている(花見、水遊び、クリスマス会等)		継続
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎朝の職員会議で支援内容の確認を実施		継続
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・終了時にプログラムの振り返りを行う ・特別な行動があった場合は、記録を取りケース検討会を実施		継続
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・サービス提供記録は、児童発達管理責任者が毎日確認する		継続
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・モニタリング時に大きな成長や後退が見られた場合は、相談支援事業所を交えた事例検討会を行う		継続

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・児童発達責任者の参加や、その他研修を受講した職員が参画		継続
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・適宜支援者会議を開催している ・必要に応じて電話連絡で情報共有をしている		訪問特別支援や保育所等訪問支援の実施を検討する。(実施するための職員体制の整備)
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・実施している		継続
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・地域の児童センターの活動に参加している ・法人による地域交流の児童クラブ(チャレンジクラブ)への活動紹介	はい42%どちらともいえない8%いいえ8%わからない42%	継続
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・法人主催による地域交流のお祭り(あいむフェスタ)の運営に関わっている	・児童館なども利用していて、交流する機会が豊富 ・幼稚園以外では特に交流がない	継続

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時において、重要事項説明書を使い説明している	はい100%	問い合わせ等があれば丁寧に対応していく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・計画書を示しながら口頭で説明しサインをもらっている	はい83%いいえ17%	問い合わせ等があれば丁寧に対応していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレントトレーニングという名目では実施していない ・相談に対して助言や指導を行う場合がある	はい66%いいえ17%わからない17%	保護者の方に研修等の情報提供を行っていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・聞き取りと、連絡ノートを活用して 共通理解を図っている	はい100% ・毎回説明してくれるのでわかりやすい	継続
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・必要に応じて行っている	はい84%どちらともいえない8%わからない8%	相談記録を活用し保護者の悩みの職員の共通理を図り、支援の一貫性を図るように努める
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・積極的には実施していない	はい16%どちらともいえない8%いいえ38%わからない38% ・以前はランチ会などしていたと聞いたので、また開催して欲しい	保護者向けの勉強会や懇親会を実施する
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情対応マニュアルの作成と苦情ボックスに入った内容と対応について玄関に掲示している	はい75%わからない25%	継続
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・視覚的なアプローチを行っている ・連絡ノートを活用し、必要に応じては口頭で連絡を行っている	はい100%	継続
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月の機関紙『ころころ通信』にて情報提供を行っている	はい100%	継続
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報保護規定を玄関に掲示 ・職員に誓約書への捺印を実施している	はい100%	個人情報保護について研修会の実施を検討する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル・避難確保計画の策定	はい58%どちらともいえない8%わからない34%	機関紙にて周知を行う
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練の実施	はい34%どちらともいえない8%いいえ8%わからない42%無回答8%	機関紙にて周知を行う
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・虐待対応マニュアルの作成と、年1回セルフチェックの実施と評価を行っている		継続実施と積極的に外部研修の受講機会を増やす努力を行う
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・契約書第4条(サービスの内容)の2に身体抑制を行わないと明記している		必要となったときは適切に対応する
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用児の健康調査票に食物アレルギーの項目を設け、それに応じて対応している		継続
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員会議で事例検討を行っている		継続

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年 1月 22日

事業所名:どんぐりの里(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指定基準以上の指導訓練室を確保 ・指導訓練室以外に食堂、相談室、屋外遊戯場、静養室を設ける	はい100%	継続
	2 職員の適切な配置		はい80%どちらともいえない20% ・たまに少ないと思う日がある	必要に応じて職員を確保する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・施設内バリアフリー ・館内にエレベーターの設置	はい100%	継続
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃の実施 ・空気清浄器の活用	/	清掃点検表を設置
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・人事評価制度の活用 ・毎月2回の会議において、指導法等の意見交換を実施	/	人事評価について内部研修を行い、意識して働けるようにする
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者評価の受診(3回)	/	4回目の受信を検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部講師による研修(法人全体で年3回) ・外部研修への参加の促進 ・内部研修会の実施(事業所で年1回) ・研修報告書の作成	/	研修計画の作成
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用者のサービス等利用計画を基に、個別支援計画を作成 ・計画期間内にモニタリングの実施や相談支援事業所から情報を得るようにしている ・アセスメント表の活用	はい60%どちらともいえない40%	相談支援事業所との連携を密にして情報の提供を受ける
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別支援計画において、個別支援の部分と集団の中での支援と目標設定をしている ・状況に応じて、家族支援や地域支援の視点も取り入れている		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・個別支援計画作成後、保護者への説明		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施	はい100%	継続
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施		アンケートの実施
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・休日は日替わりでプログラムを実施 ・公共施設を使い社会性の習得 ・児童発達支援の保護者との交流プログラムの実施	はい67%どちらともいえない30%無回答3%	機関紙やホームページを使い、活動内容の見える化を図っていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・週ごとにプログラムに変えている ・季節行事を取り入れている(花見、水遊び、クリスマス会等)		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎朝の職員会議で支援内容の確認を実施		継続
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・終了時にプログラムの振り返りを行う ・特別な行動があった場合は、記録を取りケース検討会を実施		継続
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・サービス提供記録は、児童発達管理責任者が毎日確認する		継続
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・モニタリング時に大きな成長や後退が見られた場合は、相談支援事業所を交えた事例検討会を行う		継続	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・児童発達責任者の参加や、その他研修を受講した職員が参画		継続
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・適宜支援者会議を開催している ・必要に応じて電話連絡で情報共有をしている		訪問特別支援や保育所等訪問支援の実施を検討する。(実施するための職員体制の整備)
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・必要に応じて引継ぎシートの作成や支援者会議を行っている		継続
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・実施している		機関紙にて周知を行う
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・地域の児童センターの活動に参加している ・法人による地域交流の児童クラブ(チャレンジクラブ)への活動紹介	はい10%どちらともいえない80%無回答10% ・そういう機会を望んでいないので気にしたことがない	機関紙にて周知を行う
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・法人主催による地域交流のお祭り(あいむフェスタ)の運営に関わっている		継続実施と積極的に外部研修の受講機会を増やす努力を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時において、重要事項説明書を使い説明している	はい90%どちらともいえない10%	問い合わせ等があれば丁寧に対応していく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・計画書を示しながら口頭で説明しサインをもらっている	はい90%どちらともいえない10%	問い合わせ等があれば丁寧に対応していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレントトレーニングという名目では実施していない ・相談に対して助言や指導を行う場合がある		保護者の方に研修等の情報提供を行っていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・聞き取りと、連絡ノートを活用して 共通理解を図っている	はい100%	継続
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・必要に応じて行っている	はい80%どちらともいえない20%	相談記録を活用し保護者の悩みの職員の共通理を図り、支援の一貫性を図るように努める
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・積極的には実施していない	はい50%どちらともいえない30%いいえ10%無回答10% ・あれば参加します	保護者向けの勉強会や懇親会を実施する
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情対応マニュアルの作成と苦情ボックスに入った内容と対応について玄関に掲示している	はい80%どちらともいえない10%無回答10%	継続
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・視覚的なアプローチを行っている ・連絡ノートを活用し、必要に応じては口頭で連絡を行っている	はい100%	継続
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月の機関紙『ころころ通信』にて情報提供を行っている	はい100%	継続
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報保護規定を玄関に掲示 ・職員に誓約書への捺印を実施している	はい100%	個人情報保護について研修会の実施を検討する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル・避難確保計画の策定	はい50%どちらともいえない40%無回答10% ・利用日数が少ないので気にしたことがない	機関紙にて周知を行う
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練の実施	はい20%どちらともいえない70%無回答10% ・利用日数が少ないので気にしたことがない	機関紙にて周知を行う
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・虐待対応マニュアルの作成と、年1回セルフチェックの実施と評価を行っている		継続実施と積極的に外部研修の受講機会を増やす努力を行う
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・契約書第4条(サービスの内容)の2に身体抑制を行わないと明記している		必要となったときは適切に対応する
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用児の健康調査票に食物アレルギーの項目を設け、それに応じて対応している		継続
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員会議で事例検討を行っている		継続